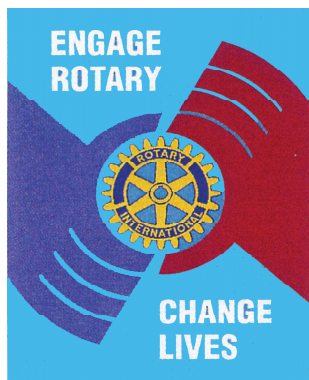




ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を



会長 箕輪 良孝 ・幹事 加藤 清久 ・会報 福岡 健  
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3  
・事務局 尾張旭商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
E-mail: owariasahi@mte.biglobe.ne.jp URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

～磨いて 輝こう～

本 日 第2103回 2014年5月9日(金) No. 1991

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓話担当者: 例会運営委員会

卓話者: 古橋 裕志君

演 題: 「地区研修・協議会の分科会について」

前 回 第2102回 2014年5月2日(金) 記 録

○斉 唱: 「君が代」・「奉仕の理想」

○ゲスト: 交換留学生

ロビン・マリー・クリアさん

○出席者: 会員26名中20名出席 出席率76.92%

前々回補正出席率 4月20日分 96.15%

会長あいさつ 箕輪 良孝

今日は交換留学生のロビンさんが、第1例会で出席しています。彼女は最後のホストファミリーの安藤さん宅に先月末に移動しました。残す滞在期間も2ヶ月となりました。予定では7月8日に帰国します。残りを有意義に過ごしてくれることを望みます。

昨日、市のふるさとガイドの皆さんが「花咲く庭の寺巡り」をテーマに市内4ヶ寺の寺を案内され、私の寺が最後の訪問で少し話をするように依頼されました。市民を募集して20名くらいの方が参加されていたようです。この頃感じるのですが、こうした行事に参加される年齢層が、前期高齢者の人たちであり、またガイドボランティアの人たちも同じような年代です。ますます増える高齢者の今後の社会でのあり方を考えさせられます。

花は無心にして蝶を招き

蝶は無心にして花を訪ねる

花開く時 蝶来たり

蝶来る時 花開く

吾もまた人を知らず

人もまた吾を知らず

知らずして帝則に従う

良寛さんが言われた言葉です。自然と一体になり、自然

の中に溶け込む、そこに「無心」が生み出す幸せがあります。寺の庭は、こうした無心の幸せを感じていただきたいと願っています。

今月は、出席奨励月間です。私たちにとってこんな自然の生業でロータリークラブが存在することは素晴らしいことと思います。

おめでとう

・結婚記念日:

5月19日

谷口 伸夫君

左から箕輪会長、谷口君

・誕生日祝福:



5月 1日

飯田 幸雄君ご夫人  
澄子様

5月 5日

金森 俊輔君ご夫人  
秀子様

左から箕輪会長、飯田君、金森君

----- 出席奨励月間 -----

| 例<br>会<br>予<br>定 | 5月16日(金)                                 | 5月23日(金)                | 5月30日(金)                                                                    | 6月6日(金)                            |
|------------------|------------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
|                  | 移動例会 12:30～<br>県立 旭野高等学校<br>担当: 青少年奉仕委員会 | 早朝例会 AM7:00～<br>萬安山 良福寺 | 卓話担当者: 舟橋 龍秀<br>社会奉仕委員長<br>卓話者: 日進市議会議員<br>舟橋 よしえ様<br>演題: 「一愛知に住む私たちにできること」 | 卓話者: 唐井 仁一<br>親睦活動委員長<br>演題: 「未 定」 |

## 幹事報告

- ・4/25 第6回現・次期クラブ協議会 於商工会館 箕輪良孝会長以下15名出席
- ・本日の会合：第14回現・次期理事役員会
- ・次回の会合：第4回現・次期OFDY委員会  
第17回地区研修・協議会実行委員会
- ・例会変更のお知らせ：別紙

## ニコボックス

- 結婚記念日を祝っていただき。 谷口 伸夫君  
○誕生日を祝っていただき 谷口 伸夫君  
○家内の誕生日を祝っていただき  
飯田 幸雄君、金森 俊輔君  
○3月4日からのニケ月、ホームクラブの例会に出席出来ませんでしたので、誕生日も結婚記念日もパスしてしまいました。 森井 晴生君  
○本日、卓話を担当します。どうぞよろしく。  
加藤 清久君  
○加藤 清久君の卓話を楽しみにしています。  
箕輪 良孝君、浅野 善吉君、江尻 豪君  
○ロビンちゃん、安藤家での生活はどうか。  
菊田 利昭君  
○さわやかな季節になりました。連休は東京に芝居を観に行きます。 舟橋 龍秀君  
○5月5日は、皆さまお誘いあわせの上、お越しをお待ちしております。 森井 晴生君  
○先日は家内が谷口先生宅で大変お世話になり、ほんとうにありがとうございました。 丹羽 敏行君  
○写真をありがとうございました。 古橋エツ子君

## 第14回現・次期理事役員会

- 日時 平成26年5月2日（金）13:40～  
場所 尾張旭市商工会館内 第一会議室  
議題 1) バナー賞、国際大会に参加について  
(西尾国際奉仕委員長)  
了承された。  
2) (一般社)尾張旭青年会議所主催 シティマラソンについて (加藤幹事)  
参加する方向で、検討するが、具体的には今後青年会議所様と協議する。  
3) 会員増強について (箕輪会長)  
積極的に勧誘する。  
4) 6/21(土)夜間例会について  
了承された。  
5) 次年度 プログラム(案)、次年度予算(案)について (仲澤副幹事)  
承認された。  
6) その他の件  
・クールビズ 5/20～9/末まで。  
・伊那RC・尾張旭RC交流例会 会計報告  
了承された。

## 卓 話

### 「会社経営について」

加藤 清久

会社をやめ独立して、30有余年経営してきたお話を一度、皆様に聞いていただきたと考えお引き受けしました。お話しするにあたって前置きが必要になりますので、すこし、戦後の日本の経済発展の過程をおさらいしておきたいと思います。戦後、日本経済はまず、食べることが一番で、闇市、買い出し等から始まりました。昭和21年、私は7才で、母の買い出しに連れられ、父



の紋付き羽織袴と母の矢絣の着物が米2升とくず餅20数個に交換されたことを憶えており、必死で食に専念した時代でした。少し落ちつき、20年代の後半になると、衣類、陶器関係等、身のまわりの生活物資の産業が盛んになりました。

ロータリアンの先輩から、一宮の「ガチャマン」、瀬戸の陶器屋さん「どうしてこんなに儲かるのかな」との話を聞きました。昭和30年代に入ると、3種の神器と言われ、家電製品「洗濯機、冷蔵庫、白黒テレビ」が普及、30年代半ばになると、通産省から国民車構想が示され、スバル、マツダクーペ、三菱500、パブリカ等が販売されました。時代が下って30年代末は、オリンピック、社会インフラの整備、高速道路や新幹線等、産業の基盤を創る産業が全盛になりました。またこの頃になると、新3種の神器の時代になり、カラーテレビ、自動車、クーラーと。昭和も40年代後半になると、田中内閣の列島改造論が提示され、土地の投機、住宅の建設のブームがまいました。この頃になって、日本はほぼ、衣食住が充足された感が致します。少し、さかのぼって昭和40年代の前半に、電卓が発売され、50年代に入りパソコンが普及、8ビット、16ビットと年代を追うごとに性能が飛躍的に向上致しました。40年代の後半にはじまった第1次オイルショック、50年代半ばの第2次オイルショックを踏まえても、それを乗り越え、1980年代の後半、日本経済は絶頂期を迎えました。1990年、バブルが崩壊し、金融引き締めで、銀行の倒産、デフレが続き、いまだ収まっていますが、このような状況でも、電話、液晶テレビ、自動車の改善等が進み、今日を迎えています。戦後の食を求めるところから今日のIT時代まで、日本の産業構造が変化し、企業は栄枯盛衰を繰り返してきましたが、その中の微々たる存在で、私も昭和44年に独立、当時の電卓を販売し、会社を30有余年経営して参りました。さて、そんななか、経営とは何であろうか、一歩間違えば倒産の危機があるなかをと問われたとき。当たり前ですが、「自分の事業に惚れ込み、本業を大切にする」ことではと考える次第です。先述しましたように、産業は勃興期、成長期、衰退期があり、どんどん変化してゆきますが、その産業が無くなるわけではありません。いつも、本業を大切に経営していれば他の競争相手がこけてゆきます。(肌身で感じています)

また、「研究開発に資金を投入」することでは。一般的に、企業の売り上げの1割が経常利益、純益はその半分です。でも、利益を削ってでも資金を投入する、突飛なところでなく、本業の周りに着目、新事業を発掘する、10挑戦して1残るか残らないかですが。なかなか継続が難しい、でも、変化する時代への対応、これを実践しないと生き残れません。私は、この二つを柱に経営してまいりましたが、バブル崩壊後、1996年まで続いた政府の公共投資拡大ストップにより、売り上げが半減、赤字経営になった責任を取り退任致しました。幸い、後継者が私の考えを引継ぎ今日まで経営を続ける事ができています。今、静かに振り返って、現在、任天堂、シャープ、ソニー等、幾多の大会社が産業の転換期を迎え必死に戦っていますが、会社が大きい小さいかは関係なく、どうも、このあたりに比重があるように感じている次第です。